

# ART治療歴のある患者コホートにおける2剤および3剤レジメンのウイルス学的アウトカムは類似

切り替え時にウイルス血症が認められた患者のウイルス学的抑制が得られるまでの期間における2剤レジメンと3剤レジメンの比較、未調整および調整HR

	ウイルス学的抑制イベント/ ウイルス血症が認められる患者 (%)	未調整HR (95%CI)	調整*HR (95%CI)
2-DR	318/518 (61.4)	1.02 (0.91~1.15)	1.00 (0.88~1.13)
3-DR	2116/3141 (67.4)	1.0	1.0

切り替え時にウイルス学的抑制が得られていた患者のウイルス学的失敗までの期間における2剤レジメンと3剤レジメンの比較、未調整および調整HR

	ウイルス学的失敗イベント/ ウイルス学的抑制が得られている患者 (%)	未調整HR (95%CI)	調整*HR (95%CI)
2-DR	74/724 (10.2)	1.26 (0.99~1.61)	1.15 (0.90~1.48)
3-DR	589/5286 (11.1)	1.0	1.0

\* 年齢、人種、性別、薬物乱用、ART投与期間、併存疾患、これまでのARTレジメン数で調整した。  
ウイルス学的失敗までの期間に関するモデルではさらにベースラインCD4+細胞数で調整した。  
2-DR : 2剤レジメン、3-DR : 3剤レジメン